



野比中だより

絆 きずな  
—私らしく生きる—

横須賀市立野比中学校

〒239-0841

横須賀市野比4-4-1

tel:046-849-3318

Fax:046-849-3791

## 野比中生の野比中生による

## 野比中生のための生徒会活動

10月28日に生徒会選挙が実施されました。



5時間目に行われた立会演説会では、生徒会長に立候補した山下さんをはじめとして全校区に立候補した5名の演説が行われました。

立会演説会は、コロナ禍であることを考慮して、リモート方式で実施されました。私は視聴覚室で直接立候補者のことばを聞くことができたのですが、それぞれが自分が大切にしたい考えを基に生み出した公約について、自分の言葉でしっかりと語る事ができてい



たのではないかと感じました。各クラスの担任の先生方に尋ねましたが、それぞれの教室でも、真剣に話を聞くことができたという報告を聞き、うれしく思いました。

さて、選挙という言葉を知ると、私は第16代アメリカ合衆国大統領リンカーンのゲティスバーグという場所で行われた演説にある

**government of the people,  
by the people,  
for the people**

(人民の人民による人民のための政治)  
という言葉思い出します。私たちの日本国憲法前文にも

そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。という記載がありますが、これもリンカーンの言葉の影響を受けているという説があります。

野比中の生徒会選挙は、毎年この時期に、生徒会のリーダーが3年生から2年生にゆだねられるタイミングで実施されます。学校という場所は毎年、入学と卒業があつて、基本的には最上級生から生徒会長が選出され、

代々引き継がれているのが、いわば当たり前の風景となっています。

この時期を迎えるタイミングで、次のリーダーに立候補したいと考える人は、今の野比中の素晴らしいところはどこか、また野比中がさらに発展するとするならばどのようなことが必要なのか、「公約」という形で表現していきます。とかく「選挙」というと、立候補する人に注目しがちなのですが、「選挙」は「立候補」と「投票」で成り立っています。立候補した人だけでなく、なぜその人に投票したのか、投票する行為もとても重要だと私は考えています。表明された公約についてどのように理解し、立候補した人をどのように支えているとしているのか。生徒会活動というのは生徒全員で行っていくものです。野比中生みんなにその責任があるのですね。



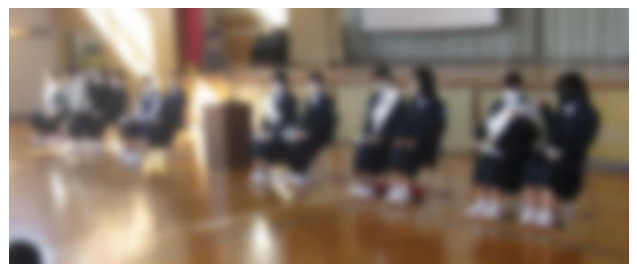
先ほど、教室での皆さんの様子についてうれしく思ったと書きましたが、つまり皆さんが真剣に選挙に取り組んでいるからこそ、野比中の文化が伝承されていくのだと思うのです。その様子がうかがえたということが、とてもうれしく思うのです。



全校での立会演説会と共に、各学年単位での立会演説会も拝見しましたが、学年区での選挙も、学年のリーダーを選ぶことにも関連してきますので、皆さんが真剣に話を聞いている様子、とてもよかったですと思います。今回の選挙では1年生については、立候補者が複数あったので、残念ながら当選と落選という結果が出ています。



私の率直な感想として、「もしここで落選したとしても、今回立候補したメンバーは、未来の野比中をよりよくしていこうとする中心的な役割を果たしてくれるだろう」と感じました。生徒会を動かしていくのは執行部のメンバーであるかどうかではありません。それぞれの立場で真剣に考え、それを行動に移していくことです。今回立候補してくれたメンバーはそれができる人たちであったと思います。



そして今回落選してしまった人たちの公約もぜひ大切にしてほしいと思います。それぞれがそれぞれ野比中をよくしていこうと一生懸命考えてくれた内容です。それぞれの公約をしっかりと受け止め、素晴らしい生徒会活動を展開してください。また、皆さんの活躍を期待したいと思います。

あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり